

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | |
|--------------------------------|-----------|
| I. 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|-------------------|
| 事業所番号 | 3970101618 |
| 法人名 | 社会福祉法人 てくとこ会 |
| 事業所名 | グループホーム 南十字星 |
| 訪問調査日 | 平成20年11月28日 |
| 評価確定日 | 平成21年1月30日 |
| 評価機関名 | 社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 |

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|--------------|-------|--------------|
| 事業所番号 | 3970101618 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 てくとこ会 | | |
| 事業所名 | グループホーム 南十字星 | | |
| 所在地 (電話番号) | 高知市種崎古桑野593 | (電 話) | 088-837-3266 |

| | | | |
|-------|--------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年11月28日 | 評価確定日 | 平成21年1月30日 |

【情報提供票より】(平成20年11月5日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|------------|-----------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成16年6月25日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 16 人 | 常勤16(内兼務2)人、非常勤 0人、常勤換算 15人 | |

(2)建物概要

| | | |
|------|-------------------|-------------------|
| 建物形態 | 併設/ 単独 | 新築 /改築 |
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り | |
| | 3 階建ての | 2 階 ~ 3 階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------------------|----------------|----------------|---|
| 家賃(平均月額) | 32,000 円 | その他の経費(月額) | 20,000 円 | |
| 敷 金 | 有(円) 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有 64,000円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | | 1,200円 | |

(4)利用者の概要(11月5日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 7 名 | 女性 | 11 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 0 名 | | |
| 要介護3 | 7 名 | 要介護4 | 9 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 81 歳 | 最低 | 55 歳 | 最高 | 91 歳 |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|------|
| 協力医療機関名 | 愛宕病院 |
|---------|------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家の建ち並ぶ住宅街の中に位置する鉄筋3階建ての建物は、災害時には地域の避難場所となっており、その2階と3階にグループホームがある。介護度3と介護度4の利用者が占める割合が全体の9割近くになっているが、利用者の表情は穏やかで安定している。開設時からの利用者が数名いるように、継続して生活支援が出来るホームである。今年度から施設長が替わり新たな視点で施設改善に取り組んでいる。職員も各種(環境整備、業務管理、安全管理、記録、褥瘡、身体拘束・虐待防止、災害対策)委員会に属し、定期的に会を開き意見を述べることで、ホームの改善に自ら積極的に関わる姿勢が窺われる。職員の研修計画も具体的に立案し、研修内容は職員間で共有している。男性職員が半数以上を占めているが、利用者には折に触れ声をかけ、和やかに支援している。市の介護保険課にも状況報告や相談をするなど、更なる改善と向上を目指しているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題は3項目あり、「入居者への面接」は施設長、管理者、ケアマネージャー等、2~3名で行うように改善している。「非常食用料の備蓄」は未だ準備に到っていない。「その人らしく生活できる居場所作り」は居室の壁面に工夫はみられたが、なお殺風景な感じがあるので継続した取り組みを期待したい。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員に自己評価の意義やねらいを伝え、2~4枚ずつ記入を依頼し、施設長と管理者で取りまとめている。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2カ月に1回開催している。事業所から利用者の状況報告、各種委員会報告、掃除、褥瘡、身体拘束虐待防止の取り組み報告、市からの指導状況、火災訓練の報告等を行い、参加メンバーから質問、意見、提案が出て、会議後取り組んだ内容は次回の開催時に報告するようにしている。また、地域との交流や職員研修の参加状況なども伝え、施設の状況を明らかにしていこうとする姿勢が窺われる。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>今年度になって「苦情」としてはあがっていない。苦情箱も設置しているが意見や苦情は出ていない。電話対応の仕方について意見があったので、その場で対応し解決している。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域のお祭りや地区避難訓練などに参加し、建物一階で開催されている地域のいきいき百歳体操にも参加している。また、定期地域防災連携会議にも出席するなどして交流に努めている。非常災害時には地域の避難場所として屋上を開放している。</p> |

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○ 印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|----------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | <input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域に開かれた施設を目指します」という、地域密着型サービスとしての独自の理念がある。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | <input type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 4月以降、日常のケア全般を見直している最中であり、施設長は職員に理念を確認するよう指導しているが、職員間で話し合いの機会を持っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 日常生活での声かけ、入浴、散歩等各場面で理念に基づいたケアを行っている。 安心、安全面では特に気をつけている。 | ○ | 理念に沿ったケアを職員自ら実践していくために、定期的に話し合いの機会を持ち、理念の意義を確認し合う取り組みを期待したい。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域のお祭りや地区避難訓練に参加している。建物一階で開催されている地域のいきいき百歳体操にも参加し、定期地域防災連携会議へ出席するなど、地域との交流に努めている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 意義やねらいを伝え、職員に2～4枚づつ記入を依頼し、施設長と管理者でまとめている。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善計画は立てていない。昨年度の課題3項目中改善出来ているのは1項目である。 | ○ | 改善課題については計画を作成し、計画的に改善に取り組むことが望まれる。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|------|--|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | <input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 事業所から利用者の状況、検討事項、市からの指導事項等について報告し、参加者から質問や意見を受け、双方向的な会議となっている。 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 運営推進会議には報告していない。 | ○ | 運営推進会議で評価結果等を報告し、メンバーからの助言や意見を取り入れ、また、改善への取り組みのモニター役にもなってもらうなど、サービスの質の向上に役立てることが望まれる。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 市の介護保険課に事業所の実情や取り組みについて相談し、包括支援センターからは入居に関する問い合わせがあるなど、交流を図っている。他に、災害連携体制検討会でも連携している。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | <input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 利用者の状況報告だけでなく、時には家族の悩み事を話し合う事もある。 <input type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 お便りを作ろうという提案はあるが、実施には至っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 預かり金は個人の金銭出納帳に使途を明記し、管理者が記入して施設長が確認している。レシートと共に家族に確認をもらい、家族のサインももらっている。 | ○ | 家族が安心して事業所との信頼、協力関係を築く為には、家族が知りたいことについて個別の報告をすることが大切である。手紙や写真、現在計画中のお便り等で様子を伝える事を検討されたい。 |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 | <input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 今年度の家族会は12月13日に開催予定で、家族だけで話し合える場面設定も計画している。 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情箱を玄関先に設置しているが、今年度になっては「苦情」としては寄せられていない。電話の対応についての意見があり、その場で対処しているが、経過や対応の記録はなく、単発的な対応となっている。 | ○ | 苦情という形ではなくても意見や不満がある場合は要因を探り、検討し、前向きに対応することが組織の姿勢として求められる。その過程や結果について、職員が情報を共有することも含めて、苦情(意見)ノート、ファイル等で記録として残す事で、更なるサービスの向上と家族との信頼関係を築かれることを期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|--|------|----------------------------------|
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | <input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 今年の4月以降異動はなく、同一法人内での異動も考えていない。職員の定着を目指している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 離職予定者と就職者が2週間くらいは一緒に勤務し、引き継ぎを行うようにしている。一人夜勤は採用後5週間目くらいから実施し、利用者にも職員にも負担がかからないようにしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 施設内研修(認知症ケア総論他)10回、施設外研修(認知症実践者研修、排泄の自立に向けての研修他)18回、を計画しており、全職員に研修に参加できる機会を与えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修終了後、伝達研修を実施している。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | <input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 近隣のグループホームと交流があり、施設見学を行い、対応や記録の仕方などの研修をしている。各種委員会の作り方などの参考資料も交換している。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。 意思疎通が困難な場合もあるが、本人には状況や意向等必ず確認するようにしている。家族からの聴取、診療情報提供書、退院時要約などからも状況を把握するように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 本人が来所して見学等するのは5~6割であるが、家族には必ず来てもらっている。本人同伴での見学を勧め、午後の来所時には、お茶やおやつを出して雰囲気を体験してもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。 施設長、管理者、ケアマネージャー等2~3名で面接を行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○ 印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----|---|--|----------|-----------------------------------|
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 | <input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 調理、掃除、洗濯たみなど自分で出来る人には協力してもらっている。料理の味付けを教わることも多い。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。 面会后寂しそうな様子があれば寄り添って話を聞いたり、食事の喜びを感じる為に希望献立の日を設けるなど、思いや楽しみを共感し支援するようにしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 日常的に、何がしたいか、どういうふうに住生活していきたいか、気持ちよく生活できているかを尋ね、把握するようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 基本的に家族から情報を得ているが、本人の表情や行動からも読み取るようにしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | <input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 家族からは面会時や電話で意向などを聞き取り、計画に反映させている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 全社協版と竹内式でアセスメントしている。職員全員から気づきを聞いた後、モニタリング、カンファレンスを行っている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | <input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 基本的に3か月に1回見直しているが、6か月に設定している場合もあるので、出来るだけ3か月で見直すように取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 病院退院後や歩行状態の低下時には期間設定を1か月にしている。また、変化が生じたときにはその都度見直している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○ 印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|--|--|----------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>協力医療機関及び訪問看護ステーションと連携し、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>受診は原則としては家族が同伴しているが、事業所でも対応している。本人が靴など欲しい物がある場合は一緒に買い物に行き、墓参りにも同伴するなど、柔軟な外出支援を行っている。</p> | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>いままでのかかりつけ医に受診できるよう支援している。家族の希望により、協力病院から専門医の診察へ変更することもある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>受診結果は申し送りノート、業務日誌、個人記録に記載し、共有している。</p> | | |
| 19 | 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>重度化に対する指針があり、家族等には入所時に説明している。開設以来未だ事例はないが、該当する場合は話し合いを行い取り組む事になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>本人や家族の意向を確認し、希望があれば関係者と連携して取り組むようにしている。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○ 印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|--|----------|--|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | <input type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 訪問時には気になる声かけは無かったが、聞き取りの中で、トイレ介助時や普段の声掛け等でまだ改善の余地があるとの認識である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 記録等の保管については鍵を掛け、外部への流失を防ぐなど、徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 家族以外からの電話では、個人情報に関することについては答えられない旨伝え断るなど、個人情報保護法の施行以降毎日のミーティングで徹底している。 | ○ | 今年4月以降、ケア全般における改善を実施中であり、今後も利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる事なく尊重できるような取り組みを期待したい。 |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 公園などへの外出希望があっても、体調や天気の状態により行けない場合には、庭に出ることで行きたい思いに沿うなど、希望を把握し柔軟に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 基本的な一日の流れはあるが、食事時間や入浴時間などなるだけ利用者に合わせているので、結果として業務スケジュールが押し進めていくことが多い。 | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | <input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 利用者も調理に参加し、準備、味見、後片づけなど、出来る人には一緒に行ってもらい進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 今年10月から安全に食べる事を優先しているので、介助のみの職員も数名いるが、大多数の職員は同じ物を一緒に食べている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|------|---|
| 23 | 57 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>特に入浴時間の希望がないので午後入浴としているが、希望があれば臨機応変に午前中に入ることも出来るようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>入浴を拒否する利用者には、生活歴などを参考に言葉かけを工夫し、チームプレーで支援している。2日に1回は入浴できるように努めており、入浴台帳に何日目に入浴できたかを記入し、確認している。</p> | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>掃除、調理、洗濯たたみ等、利用者の経験や知恵を発揮できる場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>車椅子の利用者に雑巾で手摺りを拭いてもらったり、男性の利用者に食事用のエプロンを掛けてあげたり、歌や踊りを一緒に楽しむなど、役割や楽しみごとを作り出す働きかけを行っている。</p> | | |
| 25 | 61 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p><input type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>近くの散歩には出掛けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的にやっている。</p> <p>週に3~4回は車椅子で戸外へ出かけている。</p> <p><input type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>買い物は、たまに土・日にショッピングセンターに同行してもらうこともあるが、ドライブは4月以降では1回近くの公園へ出かけたぐらいである。</p> | ○ | <p>馴染みの店や場所へ出掛けたり、日常的な散歩、買い物、ドライブに出掛けることはストレスの発散、五感刺激の機会のみならず、人や地域との関係の継続や構築に繋がる。バスも借りられるようなので是非取り組むことを期待したい。</p> |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|---|---|------|---|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出傾向がある人には、近所に住む家族(入居時協力了解あり)に面会に来てもらったり、同行して外出するなどの対応をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 事業所周辺の人とはまだ声掛けしてもらえない関係にない。</p> | ○ | 民家が立ち並ぶ中に位置する事業所であるだけに、長期計画、短期計画をたて、防災活動やいきいき百歳体操などを通じ、声かけ等近所の住民との関係を構築することが望まれる。 |
| 27 | 71 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 地震訓練を9月、消防訓練を6月と11月に実施している。11月には地域の防災会長の参加も得て訓練を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 屋上への避難路の確保、消火器の点検はできているが、非常用食料、備品は確保できていない。</p> | ○ | 災害時に備え、非常用食料等の準備が望まれる。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事は1,400～1,600キロカロリー、水分は1,500ccを目安にし、経過記録に摂取量を記録し、把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 土曜、日曜は利用者の嗜好を聞き、刺身、煮物、ポークソテーなど、希望に沿った献立を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 普段の献立は栄養士が作っている。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|----|--|---|------|--|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p><input type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>観葉植物を所どころに置き、ソファーや食卓は使いやすく配置されているが、生活感や季節感のある物の活用には至っていない。</p> <p><input type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>壁面の紙飾りがやや子供っぽく映った。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>紅葉、クリスマスリース、模造紙に書いたクリスマスツリーの絵等で季節感を出すように工夫はしている。</p> | ○ | <p>共用空間づくりには、廊下の照明の明るさへの配慮、活け花(野に咲く花も含めて)や季節の木の実、果物を飾る等、五感への働きかけの工夫も必要である。職員の好みや価値観だけではなく、運営推進会議のメンバー等から気付きを聞きながら共用空間づくりに取り組まれない。また、他施設の見学も参考になると思われる。</p> |
| 30 | 83 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>家から持ち込んだベッド、筆筒、アルバム、鏡台、座布団、仏壇等、個別に工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>利用者の誕生日に職員が模造紙に寄せ書きした物や、自衛隊でもらった飛行機の写真を貼るなど、工夫はみられるが、殺風景な居室が数力所あった。</p> | ○ | <p>取組中だと思われるが、居心地の良い居室となるように上記同様取り組まれない。</p> |